

取引説明書（Hirose-FX2、Hirose-FX2 ミニ） 対比表

平成 26 年 3 月 10 日

（青字部分は変更、~~青字~~部分は削除箇所）

現 行	変 更 後
<p>10. 通貨ペアの種類</p> <p>当社で取扱う通貨ペアは、本取引説明書 8 ページ以降の別表をご確認ください。それぞれの通貨ペアの売り付け、買い付けができます。なお、取引証拠金等は日本円のみでの預託となり、全ての通貨ペアにおいて、評価損益は円換算いたします。</p>	<p>10. 通貨ペアの種類</p> <p>当社で取扱う通貨ペアは、本取引説明書 8 ページ以降の別表をご確認ください。それぞれの通貨ペアの売り付け、買い付けができます。なお、取引証拠金等は日本円のみでの預託となり、全ての通貨ペアにおいて、評価損益は円換算いたします。</p>
<p>11. 1Lot あたりの通貨数量</p> <p>1Lot あたりの通貨数量は通貨ペア毎に異なります。本取引説明書 8 ページ以降の別表をご確認ください。</p>	<p>11. 1Lot あたりの通貨数量</p> <p>1Lot あたりの通貨数量は通貨ペア毎に異なります。本取引説明書 8 ページ以降の詳細は別表をご確認ください。</p>
<p>12. 1 回あたりの最大注文可能数量及び受注可能数量</p> <p>1 回あたりの最大注文可能数量及び受注可能数量は、本取引説明書 8 ページ以降の別表をご確認ください。</p> <p>ただし、1 回あたり最大注文可能数量まで注文することはできませんが、受注可能数量以上の注文の場合、ベストプライスで約定しないことがあります。また、ベストプライスを提示したカバー先が受注を制限する場合等、受注可能数量以下の注文であっても、約定しないこともあります。なお、1 回あたり最大注文可能数量は、予告なく変更する場合があります。</p>	<p>12. 1 回あたりの最大注文可能数量及び受注可能数量</p> <p>1 回あたりの最大注文可能数量及び受注可能数量は、本取引説明書 8 ページ以降の別表をご確認ください。</p> <p>ただし、1 回あたり最大注文可能数量まで注文することはできませんが、受注可能数量以上の注文の場合、ベストプライスで約定しないことがあります。また、ベストプライスを提示したカバー先が受注を制限する場合等、受注可能数量以下の注文であっても、約定しないこともあります。なお、1 回あたり最大注文可能数量は、予告なく変更する場合があります。</p>
<p>14. 取引レート</p> <p>取引レートは 1 通貨単位のレートを取引画面上に提示いたします。また、原則として買いレートと売りレートの両方のレートを同時に提示し、お客様は買いレートで買い付け、売りレートで売り付けることができます。</p> <p>通常買いレートは売りレートより高くなっています。</p> <p>※大口の成行、逆指値注文は、取引画面上に提示されているレートより広いスプレッド（不利なレート）で約定する場合があります。これは、複数のカバー先から最良のレートを取得して提示していますが、約定を優先させるために、大口注文の場合、最良のレートを提示しているカバー先ではなく、大口注文を受け入れられるカバー先に注文しているためです。</p>	<p>削除</p> <p>※15.約定レートへ移動</p>
<p>新設</p>	<p>14. 提示レート</p> <p>提示レートとは、取引画面上に表示されている 1 通貨単位の ASK レートと BID レートのことをいい、お客様は ASK レートで買い付け、BID レートで売り付けることができます。</p>

	<p>当社の提示レートは、カバー先からの配信レートに基づき、当社の表示する通貨ペア毎のスプレッドや流動性等を考慮して生成したものとなります。ただし、カバー先からの配信レートは、膨大な個数となるため、すべての配信レートに対して、提示レートを生成することは困難であることから、当社では、通貨ペア毎に異なる一定間隔でカバー先からの配信レートを用い、提示レートを生成しております。また、お客様の取引画面上に表示されるレートは、最大で1秒毎の更新となり、当社が生成したすべてのレートではありません。また、モバイル版は、自動更新ではないため、お客様の取引画面上に表示されている提示レートが、当社サーバにおける最新レートとは異なる場合があります。</p>
<p>新設</p> <p>※移動</p>	<p>15. 約定レート</p> <p>約定レートとは、注文が執行され、約定したレートのことをいい、17に定める注文の種類によって、注文の執行時点が異なるため、約定レートの取扱いも異なります。</p> <p>※大口の成行、逆指値注文は、取引画面上に提示されているレートより広いスプレッド（不利なレート）で約定する場合があります。これは、複数のカバー先から最良のレートを取得して提示していますが、約定を優先させるために、大口注文の場合、最良のレートを提示しているカバー先ではなく、大口注文を受け入れられるカバー先に注文しているためです。</p>
<p>新設</p>	<p>16. 現在レート</p> <p>現在レートとは、各時点における最新レートのことをいいます。</p>
<p>15. 注文の種類</p> <p>(1) クイックトレード</p> <p>現在レートの指値の注文方法。1ポイントでも不利なほうに変動すると約定しません。成行で約定させたい場合は、許容スリップ入力欄に、許容できる範囲を設定してください。</p>	<p>17. 注文の種類</p> <p>(1) クイックトレード</p> <p>・特徴</p> <p>提示レートで約定させたい場合に使用する現在レートの指値注文で、1ポイントでも不利なほうに変動すると約定しません。また、提示レートを基準として許容できる一定の範囲（許容スリップ）を指定することもできます。</p> <p>・発注方法</p> <p>許容スリップ、通貨ペア、数量、売買の別、新規決済の別を指定して発注します。許容スリップの指定数値は呼び値の最小変動単位を1として判定いたします。提示レートで買いたいまたは売りたい場合の許容スリップは0となります。ただし、使用機器のフリーズ等により、提示レートが更新されていない等の理由によって、発注時点における表示レートが最新レートでは</p>

<p>(2) 指値 (リミット)</p> <p>レートを指定する注文方法。指値は指定のレートに達した時点で、指定したレートで約定します。(指値注文は有利なほうにも不利なほうにもスリッページしません。) 許容スリップの範囲内であれば、有利・不利にかかわらず、注文は約定します。許容スリップの範囲を超えたレートでは、有利・不利にかかわらず、注文は約定しません。</p> <p>(3) 逆指値 (ストップ)</p> <p>指定したレート以上になれば成行で買う、または指定したレート以下になれば成行で売るといった注文方法。利益や損失の水準を決める場合に便利です。逆指値は指定レートに達した後、</p>	<p>ない場合、提示レートで発注したつもりであっても、提示レートと約定レートに差異が生じる可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・注文の執行 <p>当社が注文を受け付けた時点で執行し、現在レートで約定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スリッページ <p>許容スリップ 0 の場合、現在レートが発注時点の提示レートと同一レートでなければ、約定しないため、スリッページすることはありません。許容スリップ 1 以上の場合、相場環境や発注時点から注文が執行されるまでの時間差等により、約定レートは、発注時点の提示レートと比較して、許容スリップの範囲内で有利なほうにも不利なほうにもスリッページする可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・注文の失効 <p>許容スリップが 0 の場合、現在レートが発注時点の提示レートと同一レートでなければ、約定することはありません。許容スリップが 1 以上の場合、現在レートが許容スリップの範囲を超えて、約定することはありません。</p> <p>(2) 指値 (リミット) 注文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特徴 <p>指定したレートで約定させたい場合に使用する注文です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発注方法 <p>レート、通貨ペア、数量、売買の別、新規決済の別を指定して発注します。指定できるレートは、買い注文の場合、現在レートよりも安いレートとなります。売り注文の場合、現在レートよりも高いレートとなります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・注文の執行 <p>指定したレートが提示された時点で執行し、指定したレートで約定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スリッページ <p>指定したレートが提示された場合、指定したレートで約定するため、有利なほうにも不利なほうにもスリッページすることはありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・注文の失効 <p>指定したレートが提示されない限り、注文自体が執行しないため、失効することはありませんが、19 に定める注文期限が到来した場合は失効します。</p> <p>(3) 逆指値 (ストップ) 注文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特徴 <p>指定したレート以上になったら現在レートで買いたい、または指定したレート以下になったら現在レートで売りたい場合に使</p>
--	--

成行となり、市場レートで約定します。（逆指値注文は有利なほうにも不利なほうにもスリッページする可能性があります。）

(4) IFD (イフダン)

新規の指値（逆指値）注文と同時に、決済の指値（逆指値）注文を指定することができる注文方法。新規注文が約定した時点で、決済注文が有効となります。

用する注文です。

・発注方法

レート、通貨ペア、数量、売買の別、新規決済の別を指定して発注します。指定できるレートは、買い注文の場合、現在レートよりも高いレートとなります。売り注文の場合、現在レートよりも安いレートとなります。

・注文の執行

現在レートが指定したレートに達した後、現在レートで約定します。

・スリッページ

現在レートが指定したレートに達した後、現在レートで約定するため、相場環境等により、約定レートは、指定したレートと比較して、有利なほうにも不利なほうにもスリッページする可能性があります。

・注文の失効

指定したレートに達しない限り、注文自体が執行しないため、失効することはありませんが、19に定める注文期限が到来した場合は失効します。

(4) IFD (イフダン) 注文

・特徴

新規注文とそれに対する決済注文を出しておきたい場合に使用する注文です。新規 (IF) および決済 (DONE) の注文の種類は、指値注文、逆指値注文となり、新規注文が約定した時点で、決済注文が有効となります。

・発注方法

レート、通貨ペア、数量、売買の別を指定して発注します。指値注文で指定できるレートは、買い注文の場合、現在レートよりも安いレートとなります。売り注文の場合、現在レートよりも高いレートとなります。逆指値注文で指定できるレートは、買い注文の場合、現在レートよりも高いレートとなります。売り注文の場合、現在レートよりも安いレートとなります。

・注文の執行

指値注文の執行については、(2) 指値注文をご参照ください。逆指値注文の執行については、(3) 逆指値注文をご参照ください。

・スリッページ

指値注文のスリッページについては、(2) 指値注文をご参照ください。逆指値注文のスリッページについては、(3) 逆指値注文をご参照ください。

・注文の失効

指値注文の失効については、(2) 指値注文をご参照ください。

(5) OCO (オーシーオー)

新規の場合、「買指値+売指値」「買逆指値+売逆指値」「買指値+買逆指値」「売指値+売逆指値」、決済の場合、「買指値+買逆指値」「売指値+売逆指値」の組合せの注文を同時に出し、一方の注文が約定した時点で、もう一方の注文が自動的に取り消される注文方法。

(6) IFD+OCO (イフダン+オーシーオー)

「IFD」と「OCO」を組み合わせた注文方法。IFDで新規注文が約定した時点で、決済のOCOが有効となります。

逆指値注文の失効については、(3) 逆指値注文をご参照ください。なお、新規注文が取り消された場合または 19 に定める注文期限の到来により失効となった場合、決済注文は自動的に失効となります。

(5) OCO (オーシーオー) 注文

・特徴

2つの異なる注文を同時に発注し、一方の注文が約定した時点で、他方の注文は自動的に失効させたい場合に使用する注文です。

新規注文の場合、「買いの指値注文と売りの指値注文」「買いの逆指値注文と売りの逆指値注文」「買いの指値注文と買いの逆指値注文」「売りの指値注文と売りの逆指値注文」の組み合わせから選ぶことができます。

決済注文の場合、「買いの指値注文と買いの逆指値注文」「売りの指値注文と売りの逆指値注文」の組み合わせから選ぶことができます。

・発注方法

レート、通貨ペア、数量、売買の別、新規決済の別を指定して発注します。指値注文で指定できるレートは、買い注文の場合、現在レートよりも安いレートとなります。売り注文の場合、現在レートよりも高いレートとなります。逆指値注文で指定できるレートは、買い注文の場合、現在レートよりも高いレートとなります。売り注文の場合、現在レートよりも安いレートとなります。

・注文の執行

指値注文の執行については、(2) 指値注文をご参照ください。逆指値注文の執行については、(3) 逆指値注文をご参照ください。

・スリッページ

指値注文のスリッページについては、(2) 指値注文をご参照ください。逆指値注文のスリッページについては、(3) 逆指値注文をご参照ください。

・注文の失効

指値注文の失効については、(2) 指値注文をご参照ください。逆指値注文の失効については、(3) 逆指値注文をご参照ください。なお、一方の注文が約定した時点で他方の注文は自動的に失効となります。

(6) IFD+OCO (イフダン+オーシーオー) 注文

・特徴

IFD注文とOCO注文を組み合わせた注文で、1つの新規注文とそれに対応する2つの決済注文を出しておきたい場合に使用

	<p>する注文です。新規（IF）および決済（DONE）の注文の種類は、指値注文、逆指値注文となります。新規注文が約定した時点で、決済注文が有効となり、決済（OCO）注文の一方が約定した時点で、他方の注文は自動的に失効となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発注方法 レート、通貨ペア、数量、売買の別を指定して発注します。指値注文で指定できるレートは、買い注文の場合、現在レートよりも安いレートとなります。売り注文の場合、現在レートよりも高いレートとなります。逆指値注文で指定できるレートは、買い注文の場合、現在レートよりも高いレートとなります。売り注文の場合、現在レートよりも安いレートとなります。 ・注文の執行 指値注文の執行については、（2）指値注文をご参照ください。逆指値注文の執行については、（3）逆指値注文をご参照ください。 ・スリッページ 指値注文のスリッページについては、（2）指値注文をご参照ください。逆指値注文のスリッページについては、（3）逆指値注文をご参照ください。 ・注文の失効 指値注文の失効については、（2）指値注文をご参照ください。逆指値注文の失効については、（3）逆指値注文をご参照ください。なお、新規注文が取り消された場合または 19 に定める注文期限の到来により失効となった場合、決済注文は失効となります。また、決済（OCO）注文のうち、一方の注文が約定した時点で他方の注文は自動的に失効となります。
新設	<p>18. 注文の優先度 前項に定める注文の種類のうち、最も優先されるのは、現在レートで約定する注文となり、許容スリップを設定した場合の（1）クイックトレードと逆指値注文となります。</p>
16. 注文期限～24. 有効証拠金	19. 注文期限～27. 有効証拠金
<p>25. 必要証拠金 「Hirose-FX2」における必要証拠金は、一部の通貨ペアを除き金曜日から翌木曜日までの終値のうち最も高いレートの想定元本に 4%を乗じた金額を翌々月曜日から金曜日の必要証拠金とします。但し、1,000 円未満の金額は切上げるものとします。 「Hirose-FX2 ミニ」における必要証拠金は、一部の通貨ペアを除き金曜日から翌木曜日までの終値のうち最も高いレートの想定元本に 4%を乗じた金額を翌々月曜日から金曜日の必要証</p>	<p>28. 必要証拠金 「Hirose-FX2」における必要証拠金は、一部の通貨ペアを除き金曜日から翌木曜日までの終値のうち最も高いレートの想定元本に 4%を乗じた金額を翌々月曜日から金曜日の必要証拠金とします。但し、1,000 円未満の金額は切上げるものとします。 「Hirose-FX2 ミニ」における必要証拠金は、一部の通貨ペアを除き金曜日から翌木曜日までの終値のうち最も高いレートの想定元本に 4%を乗じた金額を翌々月曜日から金曜日の必要証</p>

<p>抛金とします。但し、100 円未満の金額は切上げるものとします。詳細は本取引説明書 8 ページ以降の別表をご確認ください。</p>	<p>抛金とします。但し、100 円未満の金額は切上げるものとします。詳細は本取引説明書 8 ページ以降の別表をご確認ください。</p>
<p>26. ポジション損益～39. 取引説明書</p>	<p>29. ポジション損益～42. 取引説明書</p>
<p>平成 25 年 11 月 11 日</p>	<p>平成 26 年 3 月 10 日</p>